

平成29年度の出発にあたって

1 子どもたちにとって学びたくなる学校（子どもたち 一人一人が 主人公）

（1）児童一人一人にとって楽しい学校

- ・友だちをたくさんつくる。（4つの実践）
- ・自分のよさを認めてくれる、話を聞いてくれる先生がいる。
- ・児童の課題を把握し、適切な指導・支援をする。

（2）知・徳・体のバランスのとれた児童の育成

- ・地域の実態と課題を把握し、効果的な小中一貫教育の推進
- ・学習規律を確立し、基礎的な学習内容の定着（インプット）と活用力（アウトプット）向上の指導
- ・道徳教育の充実と体験活動の推進
- ・体力の向上と心身の健康づくり

◎4つの実践と3減運動の推進

- 朝ごはんをしっかりと食べる
- 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う
- 友だちをたくさんつくる
- △テレビの時間を減らす
- △ゲームの時間を減らす
- △携帯電話やパソコンに触れる時間を減らす

2 保護者にとって通わせたい学校（スピード・スマイル・チャレンジ）

◎凡時徹底（当たり前前の方が当たり前出来る教職員）

- ・学校が安全・安心できる場であること
- ・確かな学力を身につけさせること
- ・問題があったときは素早く行動をとること（労を惜しまず）
- ・保護者の相談に対して丁寧に対応すること これぐらいと思っても
- ・学校応援団、放課後子供教室等を通して地域との連携を推進すること

3 職員にとって勤めたい学校（厳しいけど 優しい先生）

◎教職員が心身ともに健康で楽しい学校

- ・秩序ある学校
 - 「時を守り」「場を清め」「礼を正す」
- ・美しい学校
 - 環境美化に努める。清掃・給食については「師弟同行」
- ・報告、連絡、相談を密にし、組織的な教育活動を実践
- ・意見を出し合い、決まったことは全力で実践
- ・自分自身に合った健康管理
- ・ストレスを発散し、進んで体を動かし、笑顔あふれる職場 潤いのある職場